

# あぐり 最前線



## 土壌分析をしましょう！

—コスト低減に向けて—

JAでは、肥料の過剰施肥による無駄をなくしコスト低減に繋げるため、土壌分析を毎月実施しています。分析を希望される方は、約1合程度(20g)を採り、必ず土壌を乾燥させてから袋に入れ、住所・氏名・TELと、水稲・野菜(キャベツ、ハクサイ、等)・果樹(ミカン、カキ、等)など品目名を記入して、6月21日(金)までに各支店へご持参ください。分析結果は7月中旬頃にご連絡致します。

## 市場出荷休日カレンダー (野菜・果樹)

日	月	火	水	木	金	土
						X
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	30	24	25	26	27	28
						29

## 7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
X	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

Xは出荷できない日 □は日曜・祝日等

※防除薬剤のあとの数字は、安全使用基準で、(収穫何日前まで使用可能か/通算使用可能回数)を表しています。農薬は農薬安全使用基準を守り、正しく適期に防除してください。

で、苗に薬剤が効率よく吸収され、高い効果が得られます。  
◎ ジャンボタニシ  
《薬剤防除》  
・ジャンボタニシくん 1〜2♫/10a (60日/2回)  
\*ジャンボタニシが本剤を食べることで殺菌効果を発揮します。また、水中に溶出された農薬成分により食害抑制効果が現れます。散布後7日間は湛水状態にして、落水やかけ流しはしないようにしましょう。

## 水稲

令和元年 産米

出荷予約受付中!!

予約締切日 令和元年6月20日(木)

お問い合わせ・お申し込みは、各営業センターまたは各支店まで

今月の作業は、施肥、代かき、田植え、除草剤散布、病害虫防除などがあります。

### ●病害虫防除

▽田植え3日前〜当日  
・エバーゴルドワイド箱粒剤(50g/箱)  
\*田植え直前よりも前日に処理すること

やしてください。

### ●除草(一発処理)

散布後1週間は止め水管理とし、水持ちの悪い圃場ではフロアブル剤とパツク剤は効果が安定しないため粒剤を使用しましょう。

### 《粒剤》

・アールタイプ1♫(粒) 1♫/10a (田植え直後〜12日後)

\*田植え同時処理も可能です。

### 《フロアブル剤》

・ミスターホームランL(フ) 500ml/10a (田植え直後〜12日後)

### 《パツク剤》

・ゼータファイヤジャンボ 40g×10個/10a (田植え後5日〜15日後)

または、ジャンボタニシ食害防止効果

・シヨウリヨクジャンボ 50g×10個/10a (田植え直後〜10日後)

\*薬害防止のため、使用時期および使用基準を順守してください。

### 除草剤使用時のポイント

①代かき、畦塗りは丁寧に!

・田面の凸凹がなくなり均平になるよう耕起・代かきは丁寧にいきましょう。

・漏水しないよう、穴や崩れがあれば丁寧に畦塗りしてください。漏水しやすい場合は、畦波板やシートなどで補強しましょう。

### ②水管理をしっかり!

・水口と水尻をしっかり止め、水量は、粒剤の場合3〜5cm、液剤およびパツク剤の場合は5cm以上の湛水状態で散布します。

### 田植え後の水管理

田植え後は苗の活着をよくし、初期生育を促進させ、有効茎数を確保することが重要になります。除草剤散布後、1週間程度経過してから浅水管理(2〜3

・散布後1週間程度は水を動かさないようにしましょう。かけ流しや田面の露出は、効果の低下や薬害の原因となるので避けてください。  
・入水が必要な場合は、ゆるやかに入水しましょう。

### ③雑草が多い水田では、中期剤を使用しましょう。

・サンパンチ1♫(粒) (60日前/1回)

は、移植後15日〜ノビエ5葉期までの湛水状態で散布してください。

・クリンチャーバスマE(液) (50日前/2回)

は、移植後15日〜ノビエ5葉期までに落水状態で散布します。

④藻類発生時のポイント

藻類が発生しているときの除草剤の散布は、効果が現れないばかりか薬剤が均一に広がらず薬害を生じるおそれがあります。

・モゲトン(粒) 3♫/10a (ウキクサ類、藻類の発生初期〜発生盛期。ただし収穫45日前まで/3回)

を散布し、藻類がなくなつてから除草剤を散布してください。藻類の発生が少ない場合、雨上がりや早朝に消えることがあるので、タイミングを見計らって除草剤を散布することも可能です。

### 田植え後の水管理

田植え後は苗の活着をよくし、初期生育を促進させ、有効茎数を確保することが重要になります。除草剤散布後、1週間程度経過してから浅水管理(2〜3

### ●追肥

半促成栽培では、主茎の葉数が10枚頃を目安に行ってください。

・有機アグレット666(200♫/10a)

●土寄せ

土寄せは一度に多くのせ過ぎると、塊が長くなり塊茎が腰高となります。また、浅いと茎元が緑色となり品質が低下するので、塊茎の上3〜5cm位を目安に行ってください。

### ●病害虫防除

◎アワノメイガ

・パダンSG(溶) 150倍(7日/5回)

・トルネードエースDF 200倍(7日/3回)

### ◎紋枯病

・パリタシン(液5) 800倍(14日/4回)

・モンカット(フ) 40 200倍(3日/5回)

### ◎根茎腐敗病

・ランマン(フ) 500〜1000倍(2〜3日/回)

・ユニフォーム(粒) 18♫/10a(30日/3回) \*生育期土壌表面散布

発病が見られたら、発病株およびその周辺の数株を除去し、畦波板で仕切るなどし、発病部分を隔離してください。

## 新シヨウガ



CM)を行い、水温と地温を上げて初期生育を促進させましょう。

### ●収穫

ハウスシヨウガの収穫適期の目安は、主茎の葉数が25〜26枚頃です。収穫が遅れると収量は増えますが、肌が悪くなり品質が低下するので適期収穫を励行してください。

また、収穫したシヨウガを畑で乾燥させ過ぎると、汚れが落ちにくくなり、品質が低下します。収穫したシヨウガは布で覆う、または散水などを行い、早めに水洗いするようにしましょう。

### ●追肥

半促成栽培では、主茎の葉数が10枚頃を目安に行ってください。

・有機アグレット666(200♫/10a)

### ●土寄せ

土寄せは一度に多くのせ過ぎると、塊が長くなり塊茎が腰高となります。また、浅いと茎元が緑色となり品質が低下するので、塊茎の上3〜5cm位を目安に行ってください。

### ●病害虫防除

◎アワノメイガ

・パダンSG(溶) 150倍(7日/5回)

・トルネードエースDF 200倍(7日/3回)

### ◎紋枯病

・パリタシン(液5) 800倍(14日/4回)

・モンカット(フ) 40 200倍(3日/5回)

### ◎根茎腐敗病

・ランマン(フ) 500〜1000倍(2〜3日/回)

・ユニフォーム(粒) 18♫/10a(30日/3回) \*生育期土壌表面散布

発病が見られたら、発病株およびその周辺の数株を除去し、畦波板で仕切るなどし、発病部分を隔離してください。

## ピーマン

### ●灌水

ピーマンは乾燥に弱く、異常乾燥が続くと肥大、着果ともに悪くなります。また、通路にもマルチをしていないと、ハウス内の湿度が低下し、ダニ類の発生を誘います。ハウス内では、灌水による流亡は起こらず、逆に、濃度障害の発生に注意する必要があります。

生育が進むにつれて水分要求量が増加するので、灌水パイプでの灌水と併せて畦間灌水をしましょう。乾燥防止によるうどんこ病対策にもなります。

### ●病害虫防除

◎うどんこ病

・トリフミン(水) 300〜500倍(前日/5回)

◎灰色かび病

・アフエット(フ) 200倍(前日/3回)

◎ミカンキイロアザミウマ

・アザミウマ

# 田植機レンタルサービス 申し込み受付中!!

### レンタル利用対象者

JAわかやまの組合員

### 利用時間

利用時間の単位は1日(8:30~17:00)です。

### お願い

レンタル農機は組合員皆さまの資産です。適正な使用を心掛けてください。



### 田植機レンタル料金表(税込)

	平日	土・日・祝日	洗浄料
乗用田植機 (4条植え 施肥機なし)	27,000円	32,000円	1,000円

田植機レンタルサービスの詳しい利用方法・利用規約については、お気軽にお問い合わせください。  
本店購買部農機センター 担当:川端 ☎080-3114-7411

- ◎アブラムシ類
- ・ウララDF 2000倍(前日/2回)
- ・コルト(顆) 400倍(前日/2回)

●**整枝、剪定**  
生育し枝葉が混み合ってくる日照不足、通風不足で品質が低下します。混み合っている部分の小枝や徒長枝などの不要な枝を収穫時に取り除いてください。また、ふところ部分の採光をよくする整枝・剪定を行ってください。

## シシトウ



●**整枝、剪定**  
枝葉が混み合ってくる病害虫の発生や収穫量に影響するので、各主枝の生育と均衡をはかりながら、不要な枝を収穫時に取り除いてください。また、ふところ部分の採光をよくする整枝・剪定を行ってください。

### ●灌水

シシトウは乾燥に弱く、異常乾燥が続くと着果、肥大ともに悪くなります。灌水パイプでの灌水と併せて、畝間灌水を行ってください。ハウス内では、灌水による流亡は起こりません。逆に、濃度障害の発生に注意する必要があります。

### ●病害虫防除

収穫作業時に「葉の裏」や「花の中」を十分観察し、病害虫の早期発見、早期防除を心掛けてください。

## イチジク



●**誘引**  
風による果実の傷みを防止するため、誘引を行ってください。秀品率向上のため、結果枝の間隔は40cm以上を保ってください。

●**病害虫防除**  
▽6月5日頃  
◎アザミウマ類  
・スピノエース(顆) 500倍(前日/1回)  
▽6月15日頃  
◎黒かび病  
・トップジンM(水) 1000倍(7日/5回)  
◎アザミウマ類  
・ダントツ(溶) 2000倍(3日/3回)  
◎ハダニ類  
・スターマイト(フ) 2000倍(前日/1回)  
▽6月下旬  
◎林枯病  
・オンリーワン(フ) 2000倍(前日/3回)  
\*1樹あたり5〜10ℓ 灌注

## カキ



●**梅雨をむかえるため、日照条件を改善するように突発枝の整理など、新梢の管理を行ってください。**

## ニンジン



●**播種**  
128穴プラグトレーを使用し、1穴あたり10粒を目安に播種してください。苗床に直接播く場合はすじ播きまたはばら播きで覆土を行い、プロ有機などを施用してください。  
ネギの発芽適温は20〜25℃です。高温になる場合は必ず遮光してください。  
●**定植時に必ず植穴処理を行ってください。**  
●**病害虫防除**  
高温、乾燥が続くとアブラムシ類やアザミウマ類が多発します。商品価値を著しく損ねるので、定期的な防除が必要です。  
▽定植時  
◎アブラムシ類・アザミウマ類  
・スタークル(顆) 50倍(0.5ℓ/箱)  
(定植前日/定植時/1回) \*灌注

## 青ネギ



●**追肥**  
・ニューパワーユークキ068(40g/10a) または  
・BMスーパー野菜君(60g/10a)  
\*時期や量は、株の生育や気象、土壌条件により加減してください。  
●**パット敷き・玉直し**  
地面に接している果皮色が白くならないよう、果実が20cm程度になったらパットを敷いてください。また、均一に着色するように玉直しを行ってください。

●**種採り**  
種採り用のトウガンは、1番果または2番果を用います。長円形で整っており、濃緑色ですっきり重いものが良品です。日差しが強くなると果実にわらを被せてください。(日焼けによる腐り防止)。果実表面に白い粉が現れたら種採り用としての収穫時期です。

## ウメ



●**摘蕾・摘果**  
摘蕾は終了していますが部分的に枝などで見落とし分の蕾や傷果、奇形果を取り除いてください。  
●**病害虫防除**  
▽6月上旬  
◎落葉病・炭そ病・うどんこ病  
・オンリーワン(フ) 300倍(前日/3回) \*着色期まで  
◎アザミウマ類・カメムシ類  
・キラップ(フ) 2000倍(7日/2回)  
▽6月下旬  
◎落葉病・炭そ病  
・ジマンダイセン(水) 600倍(45日/2回)  
◎カキダアザミウマ・カイガラムシ類  
・スプラサイド(水) 1500倍(30日/3回)  
●**果皮障害防止対策**  
防除毎にバイカルティ(1000倍)を加用してください。

●**梅雨明けまでは、黒点病感染の可能性が高いので防除を徹底してください。**  
●**ハーベストオイルの散布は露がなくなつてから行ってください。**  
▽6月下旬〜7月中旬  
◎黒点病  
・ジマンダイセン(水) 600倍(30日/4回)  
◎カイガラムシ類・アザミウマ類・ゴマダラカミキリムシ(成虫)  
・ダントツ(溶) 2000倍(前日/3回)  
◎ミカンハダニ・ミカンサビダニ  
・サンマイト(水) 300倍(3日/2回)  
◎浮皮・果皮障害軽減  
・バイカルティ 1000倍(加用)  
●**梅雨明け後のダニの発生に注意し、発生園では殺ダニ剤を使用しましょう。なお、ミカン以外の柑橘類は、ジマンダイセン(水) 600倍(90日/4回)、スプラサイド(乳) 1500倍(90日/4回)となっているので農薬散布時は注意してください。**  
▽発生時  
◎ナメクジ類  
・ラービンベイト2(4g/10a)  
◎カミキリムシ類  
ゴマダラカミキリの成虫は6月〜8月に出現し、雌は7月上旬に樹の隙間に産卵します。孵化した幼虫は内部を食害し、樹勢の低下および枯死を引き起こします。  
・アプローチB 100倍(加用)  
・ダズバン(乳) 40 100倍(30日/2回)  
ミカン以外の柑橘類には  
・モスピラン(顆) 2000倍(14日/3回)

乾燥と雑草の発生を抑えるとともに、病害虫発生防止のために、つるの伸長に合わせて敷きわらを敷いてください。

## モモ



●**追肥**  
・ニューパワーユークキ068(40g/10a) または  
・BMスーパー野菜君(60g/10a)  
\*時期や量は、株の生育や気象、土壌条件により加減してください。  
●**パット敷き・玉直し**  
地面に接している果皮色が白くならないよう、果実が20cm程度になったらパットを敷いてください。また、均一に着色するように玉直しを行ってください。

### ●病害虫防除

今年はずん孔細菌病の発生が多い見込みなので、防除を徹底しましょう。  
▽6月上旬〜中旬  
◎せん孔細菌病  
・デラン(フ) 600倍(7日/4回)  
◎黒星病・灰星病  
・ダコニール1000 1000倍(前日/6回)  
◎シンクイムシ類・アブラムシ類  
・ダイアジノン(水) 34 1000倍(前日/4回)  
▽6月下旬 ※中・晩生種  
◎せん孔細菌病  
・デラン(フ) 600倍(7日/4回)  
◎黒星病・灰星病  
・ストロビードF 2000倍(前日/3回)  
◎シンクイムシ類  
・ロデイー(水) 1000倍(前日/5回)

# 果樹共済に加入しましょう!



果樹共済は、和歌山県農業共済組合(NOSAIわかやま)が運営する、**果樹の減収を補償する保険**です。

【申込期限 6月末まで】  
いつ来るか予測できない災害への備えとして、ご加入をおすすめします。  
詳しくは下記まで お気軽にお問い合わせください。

安心のネットワーク 和歌山事務所 和歌山市黒田 21  
**NOSAIわかやま TEL 073-471-1983**

温州みかん：果皮障害による腐敗・落果

を散布してください。  
捕殺による防除は、行動が緩慢な早朝に行くと効果的です。

みんなで取り組む!!

# 水稻のジャンボタニシ対策

## 1. 耕種的防除

### ①貝の密度を低下

圃場や用水路で貝や卵塊を見つけ次第処分しましょう。

卵は水中では呼吸できず死ぬので、赤色の卵塊を水中にかき落とすのが効果的です。



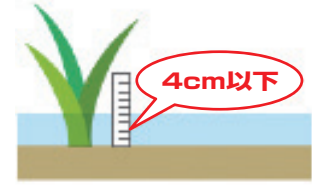
### ②侵入防止対策

目合5mm程度の網を圃場の水口に張り、水路からの侵入を防ぎましょう。



### ③食害防止対策

水深を4cm以下の浅水にすると貝が活動できず、ほとんど食害されないため、浅水管理をしましょう。



## 2. 薬剤による防除

ジャンボタニシは田植え後約 20 日間の被害が大きく、また同一圃場では深水のところへ被害が集中するので、効率的に農薬を散布しましょう。薬剤散布の適期は田植え直後です。

薬剤施用時は湛水状態を保ち、薬剤が用水路や池に流れ込まないようにしましょう。

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)に有効な薬剤

2019年6月現在

薬剤名	施与量	使用時期/使用方法/回数
ジャンボたにくん	1~2kg/10a	収穫60日前まで/湛水散布/2回以内

農薬の使用にあたっては、登録内容をご確認ください。

## 3. 地域ぐるみ防除（一斉捕殺）

一斉捕殺作業 7月6日（土）、7日（日）  
和歌山市内全域

注1)一斉捕殺時のジャンボタニシは、分別収集による指定ゴミ袋にて回収させていただきます。

注2)上記日程において、地域ぐるみでジャンボタニシを捕殺していただいた場合は1袋（10kgが目安）につき500円の助成をさせていただきます。上記日程の日曜日・正午までに各支店または、営農センターの指定の場所までお持ちください。なお、助成を希望される場合は必ず事前にJA各支店にご連絡ください。

## 4. その他注意事項

農薬取締法に基づく農薬登録を受けていない資材（椿油粕など）は、ジャンボタニシの駆除目的に使用することはできません。

## 和歌山市ジャンボタニシ防除対策協議会

(和歌山県・和歌山市・農業共済・土地改良区・JAわかやま・県植物防疫協会)